

教科名	家庭	科目名	ファッションデザイン（3年次）【4単位】	
授業形態	講義形式+実習（服飾・デザイン画などの作品制作）			
選んでほしい生徒	服のデザインに興味があって、服のデザインや色彩について勉強したり、デザイン画や服飾作品を制作したりしてみたいと思っている人			
科目の目標	ファッションについての専門的な知識を学び、ファッションデザインの発想と表現力を習得させ、創造的に展開する能力と実践的な態度を育てることを目標としている。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 1 ファッションデザインの意味や基礎理論を知る。 2 発想や表現を学び、ファッションデザインを創造する能力を伸ばす。 3 ファッション産業の中で商品としてのファッションを企画する能力を身に付ける。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【1学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ファッションデザインの意味 3 ファッションデザインの発想と表現 <p>【2学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 2 ファッションデザインの基礎 4 デザインの目的と発想 <p>【3学期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 ファッション産業 		<ul style="list-style-type: none"> ・デザインとは何か、デザインの背景、服飾美とその要素について学び、ファッションの発想をデザイン画やピンワークで表現する。各種コンクールにも応募する。 ・形態、色彩、文様、テクスチャーについて学び、目的と条件を満たしたファッションをデザインする。 ・ファッション産業の仕組みについて学び、商品企画シミュレーションなどをする。 	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザインと基礎、発想と表現法、商品企画などに関心を持ち、ファッションを創造的にデザインすることを目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションを美しくかつ創造的にデザインすることを目指して思考を深め、学習した知識と技術を活用して創意工夫する能力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザインの基礎、発想と表現法、商品企画などに関する技術を身に付け、体験的な学習を通して、ファッション画等で表現したり商品企画をしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションデザインの基礎、発想と表現法、商品企画などに関する知識を身に付け、ファッション産業の社会的な意義や役割について理解している。
上記の観点を踏まえ、定期考査、実習作品、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。				
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 日常生活においても美的な体験やデザインに興味を持ち、作品の発想や表現に生かそう。 2 基礎デザイン演習では繰り返し練習し、技能を身に付けよう。 3 作品制作では発想をふくらませ、テーマや思いを表現しよう。 4 定期考査では教科書を中心に理論的なことが出題されるから、繰り返し復習し、理解しよう。 			
教材費	教科書 280円 実習費 約4,000円			
その他	「ファッション造形基礎」「被服製作②」「総合研究（被服）」と関連した学習ができる。			